

入院診療計画書 脳梗塞(注1), 軽症から中等症 クリニカル・パス

診療科: 神経内科

病棟:

患者番号:

患者氏名: 様

主治医名:

看護師名:

作成日:

日付		1日目	2~6日目	7日目	8日目	9~14日目	15~16日目	17日目(注2)
患者状態	神経	瞳孔異常がない 脳浮腫に伴う症状・所見がない						
知識・教育・理解	入院・日常・退院生活	日常生活の注意点について理解できる						
生活動作・日常動作・リハビリ	活動・安静・ADL	転倒予防行動ができる						
目標		再梗塞を起こさない			転倒転落なく安全に入院生活を送ることができる			
		転倒転落なく安全に入院生活を送ることができる			退院後の日常生活の注意点が言える 退院後の生活に不安なく退院できる			
注射		点滴治療(エダラポン, 1日2回)があります。 腎臓の障害がある場合など、点滴を控えることもあります。						
投薬		入院前のお薬はすべてお知らせ下さい。継続・中止を判断します。新しいお薬が出ることもあります。新しい抗血栓薬(抗血小板剤, 抗凝固剤), コレステロールを下げる薬, 降圧剤など			脳梗塞の再発を防ぐために、飲み続ける抗血栓薬の決定が2週間後に行われます。抗血小板剤・抗凝固剤の種類に応じて、薬の注意事項をお教えします。			
検査			脳梗塞の原因解明のため、心臓・頸動脈のエコー, ホルター心電図, 血液検査, などを入院期間中に適宜行います。					
放射線		MRI検査で脳梗塞の種類を診断します。夜間・休日入院の時にはMRIがすぐ行えないこともあります。ペースメーカー, 特殊な金属が体内に入った患者さんでは検査ができないこともあります。	脳血流シンチ, 脳血管造影(脳外科にて), 造影剤を用いたCTによる血管造影, などの検査をお勧めすることがあります。					
処置		点滴以外に●おしっこ管, ●心電図モニター, ●経鼻胃管(鼻孔から胃まで細い管を入れる), ●弾性ストッキング(あしのむくみ・血栓予防)が必要となる場合があります。						
食事		病状によっては食事や飲水を禁止することがあります。差し入れはお控え下さい。						
清潔		病状に応じて体拭き, またはシャワー浴を行います。						
排泄		病状によってトイレOK, 車椅子トイレ, ベッド上など指示があります。尿道バルンカテという管が入ることもあります。						
活動	安静度	病状によってご自分だけで動いてよい場所・範囲が異なります。ベッド上安静の場合もあります。						
	リハビリ	病状が許せば、リハビリを早期から開始します。ベッドサイドでのストレッチなど、軽いリハビリから始めます。						
看護ケア		転倒予防ケア, 観察, 清潔項目に準ずるケア						
指導		入院時に医師, 看護師から説明があります。入院診療計画書, 脳卒中地域連携パスの書類を用います。MRIに基づいた初期治療プラン, 退院までの流れを説明します。	スムーズな入院治療, 退院に向けて, 退院支援看護師やソーシャルワーカーと初回の面談を行います。通常1週間以内に行いますので, お見舞いにいらした時には病棟スタッフまで連絡を。	ご家族・ご本人への病状説明, 退院方針の確認などを通常1週間後に行います。入院時に, 次回, 説明を受ける日・時間帯を医師と相談して決めておくとい良いでしょう。			退院後の生活指導 退院時に脳卒中地域連携パスをお渡しします。転院先で提出をお願いされたら渡して下さい。	
特別な栄養管理の必要性	有 <input type="checkbox"/> / 無 <input type="checkbox"/>	(どちらかにチェック)		総合的機能評価(◇)				

(注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに当たって変わりうるものです。  
 (注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。  
 (注3) ◇印は、入院患者に対して、総合的機能評価を行った患者について、評価結果を記載すること。

上記のように説明を受けました。

年 月 日

同意者署名

本人  その他  (続柄 \_\_\_\_\_)